

米 穀

(株)グレンシーズ花巻が設立 優良種子生産を目指す

(株)グレンシーズ花巻は6月17日、JA総合営農指導拠点センター(花巻市野田)で設立総会を開きました。

同社は、JA小麦採種生産組合の構成員である出資法人と個人の出資者が、花巻地域の小麦種子の生産合理化を図るため設立。現在は、各法人が所有する乾燥調製施設で主に乾燥作業を行っていますが、施設が老朽化しているため、種子の品質確保が困難となっています。これを改善すべく、国庫補助事業を活用し同市に新たな小麦種子乾燥調製施設の整備を行うこと



で、小麦種子の高品質生産と安定供給を目指します。設立発起人代表あいさつで高橋新悦代表は「組合員6法人での活動で約90haを栽培し、県内シェア76%を誇り、県内外へ相当数を出荷している。活動方針として肥培管理、生育管理の徹底、品質の均質化を図り、信頼される優良種子生産に努めブランド化を目指して活動していく」と話しました。

グレインは「穀類」、シーズは「種」という意味があることから略してグレンシーズとし、花巻市からの発信ということから「グレンシーズ花巻」と名付けられました。

園 芸

技術の平準化を! 品質向上に向け勉強会を開催

ぶどう生産部会花巻支部は、毎週月曜日に生産者やJA職員、県中部農業改良普及センターの職員が集まり、例年との生育状況の違いや他産地の動向、市場の情報などを共有しています。支部全体の栽培技術の平準化による品質向上と意識統一に努めています。

6月8日には、20人が参加。花巻市のブドウ園地2カ所を巡回し、勉強会を開きました。県中部農業改良普及センターの職員が各品種の花穂整形やジベレリン処理などについて説明。この時期、最も重要な作業の一つである花穂整形については、開花初期に行うよう呼び掛けました。JAが地域の中核農家を指導役として任命している「農の匠」でもある同支部の佐藤秀明支部長は、花穂整形や誘引作業などについて実践しながら指導しました。佐藤支部長は「現在のブドウの生育状況は順調である。支部全体の品質の平準化に向けて頑張っていく」と話しました。

同支部は、「紅伊豆」や「シャインマスカット」、「サニールージュ」など約10種類を栽培しています。



園 芸

今後の販売に向けて 花き販売戦略会議



JAと花き部会は6月25日、JA総合営農指導拠点センター(花巻市野田)で令和2年度の花き販売戦略会議を開きました。

部会員やJA役員、取引市場関係者など22人が出席しました。高橋誠部会長は「昨年は台風被害、今年は新型コロナウイルス感染症と大きな壁が立ちはだかっている。販売環境は厳しいが、生産者と関係機関が一体となり、情報共有しながら価格を安定させて乗り越えたい」とあいさつ。営農部の藤原豊部長は「新型コロナウイ

ルス感染症の終息が見えず、花きと畜産に影響が出ている。今後も生産者には高品質生産に励んでもらい、JAは生産者を支援しながら知恵を出し合い販売していきたい」と話しました。

各地域のJA担当者が、生育状況と出荷見通し、販売対策について説明し、市場関係者と意見交換を行いました。市場関係者からは「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、感染者が出ていない岩手県でも大きく影響が出ているのは結婚式や葬儀などができないこと。このような状況が続けば花の需要が低迷しているが、今後どこまで回復するかが懸念される。8月のお盆や9月の彼岸需要に関しては例年同様であることが見込まれる」などの意見が出ました。

当JAは、リンドウ、小菊、トルコギキョウ、カンパニュラを中心とした多品目産地です。今年度の花き販売額は、5億2,700万円を目指します。

園 芸

切花用葉ぼたんこれから定植始まる

JAは6月10日、フラワーアレンジメントなどで需要が伸びている切花用葉ぼたんの栽培講習会をJA総合営農指導拠点センター(花巻市野田)で開きました。

生産者やJA職員など16人が参加。JA職員は「葉ぼたんは、冬の花壇や正月飾りに欠かせない植物として古くから栽培されている。栽培には比較的労力を要しない品目だが、需要に向くスタイルを重視している。この品目の大きなポイントは害虫予防で、定期的な薬剤散布で被害が発生・拡大する前に予防することが大切」と話しました。7月下旬に始まる定植作業から、今後の管理で重要なかん水や葉かきなどについても細かく説明しました。

令和2年度は、生産者、面積が共に増えているため数量、販売額共に前年度アップを目指します。水稲育苗後のハウスを活用できる品目のため、今後さらに推進していきます。

園 芸

イチゴ良品出荷に向けて意識統一

西和賀地域いちご部会は6月16日、営農部西和賀地域営農グループ農産物集出荷場(西和賀町沢内)でイチゴの目揃い会を開きました。



部会員や市場関係者、JA職員など17人が参加。JA職員は、良品出荷による安定価格維持に向け、出荷規格と出荷の注意事項を説明しました。参加者たちは、市場担当者から実物を用いて出荷規格の説明を聞き、さらに理解を深めました。

同町の露地イチゴは、地域特有の涼しい気候により全国的に端境期となる6月から7月に最盛期を迎え、業務用として出荷。若手の担い手により栽培が拡大している四季なりイチゴは、6月中旬から11月上旬まで出荷します。

令和2年度 販売目標
・販売額…1,100万円 ・出荷量…6t

各グリーンセンター定休日

7月・8月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。
※右記のほかに8月31日(月)が第2四半期棚卸しのため休業します。

	定休日	営業時間	お盆期間中の臨時営業時間
花巻	7/5(日)/7/19(日)/8/2(日)/8/16(日)		8:30~17:00
石鳥谷	7/11(土)/7/25(土)/8/8(土)/8/22(土)	8:00~17:00	15(土)・16(日)…8:30~15:00
大迫	土・日・祝日		8:30~17:00
東和	7/18(土)/8/15(土)	8:30~17:30	14(金)…8:30~17:00/16(日)…8:30~15:00
北上	7/26(日)/8/16(日)/8/23(日)	平日:8:30~18:00/	13(木)…8:30~17:00/14(金)・15(土)…8:30~15:00
西和賀	7/5(日)/7/19(日)/8/13(木)/8/23(日)	土・日・祝日:8:30~17:00	14(金)…8:30~17:00
遠野	7/8(水)/8/15(土)	8:30~18:00	14(金)・16(日)…8:30~15:00

●お問い合わせ先: 営農部生産資材課 ☎0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで